

永島千裕 個展 「sign」



【展覧会概要】

展覧会タイトル: 永島千裕 個展 「sign」
会期: 2018年9月8日(土)~9月28日(金)
時間: 12:00~18:00(日月祝: 休廊)
会場: イムラアートギャラリー京都
レセプション: 2018年9月9日(日)16:00~18:00

作品タイトル: ring・サイズ: 1455x1455mm・素材: 紙にアクリル・年代: 2018年

この度イムラアートギャラリーは、8年ぶりとなる平面画家・永島千裕による個展「sign」を開催いたします。

永島千裕は静岡県出身。2007年にトーキョーワンダーウォール大賞を受賞。以降海外のアートフェアに出品し2017年には北野天満宮にて個展を開催。またスウィーツブランドのアートディレクションも手掛けるなど国内外で精力的に活動する注目の若手作家です。アクリル絵具を用いて綿密に描かれる永島千裕の作品は、リリカルでポップ且つファンタジックでありながら、抽象的な不安感や不条理とともに描かれ人知の遠く及ばない不思議世界を示唆します。

本展では古代中国に由来する五行思想、中国神話、北欧神話、十二支、天文学などをソースに生命力の円環を鮮やかに描く新作《ring》を中心にドローイングも発表いたします。

言語によっては定義できない人間の感情や生命の本質に絵画から軽やかにアプローチする永島千裕の探求を是非ご堪能くださいませ。

sign

世界のあらゆる情景や形、色、図象は文化や歴史、民族、宗教の中でそれぞれのイメージや思想を表すものとして発展し、また変容してきた。何かを表すために作られたシンボルもある。それらは心の直感の琴線の近いところに根差し、他者との基本的な共通認識や共感をもたらす。

私たちは日常的なコミュニケーションに言葉を使うが、何らかの形を言語化したとき、うまくしないと零れてしまうものの中に、本質的なニュアンスを感じることがある。そしてそれが非常に大事なものだということもよくある。そういう時は広がるイメージを見えたそのままに書き残しておきたい。形のままだったら実現した、そのサインが叶うように。

永島千裕

永島千裕 Chihiro Nagashima

プロフィール

1983 静岡県に生まれる

2006 京都嵯峨芸術大学卒業

主な個展

2007 「トーキョーワンダーウォール都庁2007」

2008 「at the space time」イムラアートギャラリー京都

2008 「The Stranger」ワンダーサイト本郷

2010 「alien age」イムラアートギャラリー京都

2011 「わたしのちいさな庭」新宿高島屋10階美術画廊

2011 「永遠のパンケーキ」阪急うめだ本店11階美術画廊 |

2012 「なんにもこわいことはない」たけだ美術

2014 「告白、森へ帰る、歌をうたう」新宿高島屋10階美術画廊

2017 「BIRTHDAY」新宿高島屋10階美術画廊

2017 「神のまにまに」北野天満宮

主なグループ展

2010 「TOKYO WONDER WALL 2000-2009 10年!」東京都現代美術館

2010 「ガラパゴス・ファイン」たけだ美術 10' 11' 13' 14' 15' 16'17'

2011 「まなざしの哲学—京都嵯峨芸術大学の40年」京都市美術館

2012 「タカシマヤのばら 出品作家作品展」新宿高島屋10階美術画廊

2013 「SUMMER SHOW 2013」日本橋・新宿高島屋美術画廊

2014 「Painting/Figurative」新宿高島屋10階美術画廊

2015 「Artistic Christmas vol.IX」新宿高島屋10階美術画廊

2016 「Art of ULTRAMAN」新宿高島屋10階美術画廊

2016 「Artistic Christmas vol. X」新宿高島屋10階美術画廊

2017 「小さなアートの専門展」新宿高島屋10階美術画廊